

考える、語り合う No.24

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和3年12月17日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

高校生からの学び その2

15日(水)に、瓊浦高校情報ビジネス科の生徒さんに講師として来てもらい、「情報モラルについての授業」を4、5、6年生に向けて実施してもらいました。生徒さんは、長崎県警から正式に委嘱された「サイバーセキュリティボランティア」であり、自作のスライド資料を使って小中学生に、インターネットの光と影、メディアとの向き合い方等を教える活動をしています。



今回は特に、スマホ等が人に及ぼす影響の部分も多く伝えてくれました。体には、視力の低下やストレートネック、難聴、学習した記憶を消す等が起こるそうです。また、ネット依存やゲーム依存によって、仕事や他の遊び、勉強への関心が無くなり、日常生活や人間関係に大きな支障をきたすこと、ゲームの課金によって高額の支払いを請求された事例、ネット上の誹謗中傷で深く苦しむ人がおり、時には命に関わる事態となることも紹介してくれました。

川原小の子どもたちには、「家族とよく話し合っ規則を決めること」、「時間を守ること」、「規則正しい生活を乱すような使い方はしないこと」、「課金は必ず親の承諾をもらってから行うこと」等々のメッセージを伝えてくれました。熱心に聞いたからでしょう。質問も次々に出て、高校生が実体験を交えて答えたり、引率の先生や県警の担当の方が専門的立場から補足をしてくださったりして時間が足りないほどでした。

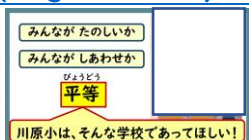
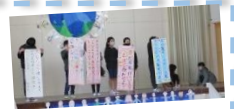
事後の感想から、分かりやすいスライドであったことや、年齢が近い高校生からの話であったことで、内容をしっかりと理解し、今後注意することを各自が持てた授業であったことが分かります。さらに、話し手の高校生を、目指すロールモデルとして尊敬や憧れの思いも持ったようです。これも今回の授業のねらいの一つで、十分達成したようです。<HP 掲載中 [サイバーセキュリティボランティア\(瓊浦高校出前授業\)|長崎市立川原小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)>](#)



人権週間中の学び

耳にした方も多いと思いますが、「21世紀は人権の世紀である」と言われます。裏を返すと、「20世紀までは人権が守られていなかった」ということになります。世界規模の大きな戦争が二度もありました。他にも、いじめやハラスメント、同和問題、ジェンダー、LGBTQ、生活環境上の障壁、・・・20世紀からの数多くの課題を、この21世紀にははっきりと認知して、克服、消滅させるべく行動しようとのメッセージだと考えます。

国の人権週間にあわせて、本校でも人権週間を設定して、強化した人権教育に取り組みました。学級活動での人権教育や、先週の7日(火)には人権集会を実施しました。担当の安藤教諭がリードしたワークショップ「私の好きなもの」によって、「人は違っているところだらけなんだ」と体験から認識しました。集会の様子は HP に掲載しています。<[人権集会|長崎市立川原小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)>](#)



私からは、「平等について」というテーマで、意見を出してもらいながら話しを進めました。(使用したイラストは著作権の関係で載せません。「平等 公平 イラスト」で検索して出てくる、3人が壁越しに野球観戦しているイラストを中心に話しました。)

※緊急に保護者アンケートを実施します。

長崎市教委総務課より、「来年度民間のプール(マリンスポーツセンター)を活用した水泳の学習を実施できないか」という問い合わせがきました。長崎市教委は、市内の小中学校の3割程度を民間のプールに委託する方向で考えています。実際本年度も既に数校が民間プールを活用しています。(移動はセンターのバス、保護者の負担なし。指導はセンターのコーチと教員が共同で行う。別に監視員を配置する。)

回答を今学期中にしなければなりませんので、PTA 会長と話をして、保護者の皆様の考えを尋ねることとしました。この学校だよりとは別に安心メールが届き、web回答用のリンクを貼っていますので、そちらで考えをお知らせください。お忙しい中に恐縮ですが、回答期限を12月21日(火)といたします。

参考までに、以下にこの事業のメリット・デメリットをあげます。

<メリット>

- ・子どもたちの泳力が、民間のコーチの指導によってより伸びる
- ・プール管理の諸業務(清掃、水質管理、機械保守等)がなくなり、負担がかなり軽減される

<デメリット>

- ・プール往復の時間が増え、バス乗車中の事故のリスクがある
- ・夏休み中のプール開放が実施できなくなる

